



兵庫県立大学 生涯学習公開講座ダイジェスト

令和5年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座 アカデミック・ツーリズム・プログラム

ひとはく 徹底公開！表も裏も全部見せます ツアー

日 程 : 令和5年11月5日(日) 9:00~17:00

受講者数: 10名

会 場 : 兵庫県立人と自然の博物館

講 師 : 自然・環境科学研究所 教授 高野 温子(代表)、講師 中濱 直之、教授 池田 忠弘
准教授 山田 量宗、特任助教 田中 公教

○テーマ・概要

今回のアカデミック・ツーリズム・プログラムは、兵庫県立人と自然の博物館に出かけました。本館の常設展示および各研究・収蔵施設・恐竜ラボ、昨年オープンしたコレクションナリウムを見学し、博物館の役割や生物の多様性を学びました。

○内 容

①常設展示・ジーンファーム見学

高野教授の案内では、常設展示の兵庫県の自然を大型パネルやジオラマ・恐竜の化石などの展示物を通して、生物の歴史、自然と人の付き合い方について、学びました。

中濱講師の解説では、収蔵施設ジーンファームを見学し、絶滅危惧種の野生植物を観察しながら、種子の保存増殖・復元の現場を見学し、生物多様性の保全、環境づくりの取り組みについて説明を受けました。

②地学系・生物系収蔵庫見学

池田教授からは地学系・山田准教授からは生物系の収蔵庫のガイドをしていただきました。

地学系収蔵庫には岩石・鉱物・化石などの標本が合わせて約11万点以上、生物系収蔵庫には昆虫・植物・鳥類・哺乳類の標本が、合わせて170万点以上の標本が保管されていると知り、参加者がその膨大な数に驚いておりました。その中でも新種の生物や化石に名称を付けるために1点だけ選ばれる標本、ホロタイプを見せていただき、標本を保存するための難しさや珍しさに感心しておられました。

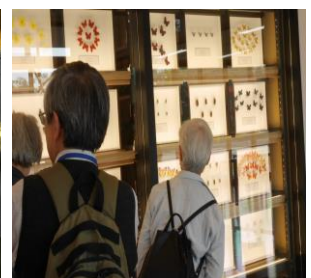
③恐竜ラボ・コレクションナリウム・新収蔵庫コレクションナリウムの見学

田中特任助教の解説のもと、恐竜ラボでは恐竜化石のクリーニング作業の現場を見学し、技術の高さ、研究についてより一層理解することができたと思います。

高野教授の解説のもと新収蔵庫コレクションナリウムの見学では、多数の希少な標本の中から牧野富太郎の標本もを見せていただき、皆さん写真やメモを取り熱心に学ばれていました。



常設展示・ジーンファーム見学



収蔵庫・コレクションナリウムの見学